

第4回 環境分科会 会議記録

開催：2020年9月8日（火） 時間 16：00～17：40

場所：社総合庁舎 入札室

参加者：9名

氏名：

内容

●前回の振り返り

配布物：河川ゴミ調査マニュアル（冊子）小野クリーンセンター（パンフ）

Micropulasutic Madnessn 映画チラシ

六甲アイランド高校活動チラシ

●あびき湿原観察会参加者報告

- ・八丁トンボに遭遇できず残念！時期が少し遅かった
- ・歩く距離としては丁度良い。花の咲く頃に行くのが良いかも
- ・湧き水では無いのでこのような暑さ続きでは湿原の存続も大変
- ・入場や駐車場も無料。大切な動植物を保存する為にも、今後に向けての課題がある

※ビジョン委員会としてお手伝い出来る事があれば考えても良いかも。

保存会へ連絡を取ってみるのも一案（会長）

●小野市クリーンセンター施設見学について

- ・現在コロナの関係で通常の工程の施設見学は中止
見てもらえるとすればごみ搬入の焼却炉部分のみ

●実践活動について

- ・前回「ごみ」というキーワードから今日は展開していったが、その中からもやはり「ペットボトル」=プラごみという部分が一番関心が高いのでその辺りから活動目標に入っていっても良いのでは

- ・次回は Micropulasutic Madnessn 映画を観てみましょう（会長用意）

○様々な意見として

- ・亀岡市レジ袋禁止条例の制定にも尽力された
大阪産業大学 原田和仙教授の講演を聞いてもらう

- ・「デポジット」については委員からの多くの共感意見あり
ペットボトルのメーカーや地域とのタイアップ、メーカーへの働きかけ等
考えていくのも面白い
※「デポジット」については調べてきてお話しします（会長）

- ・発泡スチロールをプランターや鉢底石の代わりに使用する事はやめる方向で
考えていく。未来の子ども達の為にも（細かい粒子が身体の中に入る危険性）
◎ニューヨークでは発泡スチロール禁止条例が成立している

- ・焼却炉をビジョン委員会で設置して、そこは24時間利用できそこへ誰でも捨
てれるというような実験を試してみてもは
- ・届け出の無い勝手な焼却は禁止

- その他
- ・レジ袋が海底へ沈むと溶けずにそのまま蓄積してヘドロとなる
大阪湾には300万枚が沈んでいると言われている
- ・日本の川を流れて海へ流れるペットボトルは4,700万本

- ・第5回分科会 10月13日（火）16:00～